

第16回 個性づくりテーマ展示

〈お父さんと 子ども〉



お父さん方の中には育児に積極的に関わる“イクメンお父さん”、仕事の関係でイクメンができないでいるお父さんやイクメンには無関心のお父さん、お子さんが小学生になり手間がかからなくなってイクメンを卒業したお父さんと様々なお父さんがいます。

“子育て”というものは子どもが社会に羽ばたく日まで終わったとはいえ世の中の多くのお父さんは子育ての悩みをかかえています。

世の中のお父さんは子どもや家庭とどう向き合っているのか、またお父さんが父親として果たす役割とは。父親が子どもにすること、できること、しなければならないことをテーマにした本を紹介いたします。

展示期間：2013年12月28日（土）

～2014年2月26日（木）

展示場所：鷺宮図書館 5階 個性展示コーナー

中野区立鷺宮図書館

中野区鷺宮 3-22-5 Tel 03-3337-1044

父親の役割って

子育てによる父親の役割とは子どもに巣立つちからを与えることです。つまり外敵と闘ったり、エサを取る力を与えることです。

子どもの年代ごとの役割

●乳児期（1歳未満）

出産後の母親の生活は大変な制限を受けます。それまで自由にできていたことが突然出来なくなります。家事だって思うようにできないこともあります。物事が思いどおりにならないというのは大変なストレスになります。また個人差もありますがこの時期、育児に対して責任を感じたりうまく育てられるか不安でストレスを感じる人も少なくありません。それでも子どもをかわいいと感じることでストレスが癒される場合もあります。

この時期は父親はできるだけ母親が幸せな気持ちで子育てができるよう十分配慮することです。

でも父親は、母親の子育てのアシスタントではありません。ただその役割は生まれたばかりの子どもには必要がないものなので、いずれ必要となるときの準備をします。



●幼児期（1歳～小学校就学）



幼児期には、今度は子どもを母親から分離させることが必要になってきます。子どもを居心地のいい母性から引き離し、できることに挑戦させ、子どもに限界を設定します。でもこれらは子どもにとっては居心地の悪いものです。上手にやろうとするなら子どもとの間に心の絆が必要です。子どもが父親に愛されていると感じる安心感です。その安心感の中では、こどもは居心地の悪さを受け入れることができ、それが子どもを自立へと向かわせます。ですから、子どもがお父さんのことを慕っていることが重

要です。それには子どもを愛し、関心を持って見守ればいいのです。そのとき、子どもは愛されていることを知り、愛してくれる父を慕います。ちょっと大きくなったら組み合ってじゃれあってください。思いっきり一緒にいてあげてください。お父さんといると楽しい思いをさせてやってください。そのようにすることで同時に、子どもの自己肯定感が高まります。その自己肯定感を土台にしてこそ父性が発揮できるのです。

●学童期（7歳～12歳）

この頃になると子どもも体力がついてきて体格もしっかりしてくるので体をつかった遊びをしやすい段階に入ってきます。サッカーやキャッチボールもそれまでよりはできるようになります。この時期が特に遊び時です。なぜなら子どもはこの時期まだ親の言うことを比較的聞きますし、友達関係重視になる前ですので、お父さんとの遊びを楽しみにするからです。

また、この時期に遊ぶ利点は、お父さんに何をしてもらったかを子どもが意識的に覚えていることが多い点です。それに知的レベルも上がってくるので昔からあるゲームでもできるようになってお父さんもやりやすくなります。



●思春期（11歳頃～18歳頃）



この時期には、子どもは友達と過ごす時間が増え、親と過ごす時間は減りいわゆる“親離れ”が始まります。親の方でも自分の子どもながら態度が横柄にはなるし、いちいち逆らうし、感謝のかけらも見せない子どもが増えたらしくなってきます

それでもこの時期はお母さんお父さんのサポートが子どもにとっては重要になります。子どもに対して多少の苛立ちや否定感をもってOKです。子どもは表面的には反発しても心底ではありません。

こんな年頃だなとか、そうせざるを得ない時期かもととらえて、根本的には“成長途中のカワイイやつ”くらいに肯定してあげるといいです。

出典：『お父さんだからできる子どもの心のコーチング』

菅原裕子／著

『現代の父親これで大丈夫！読むと子育て楽になります』

岡崎光洋／著

おすすめ展示図書



『お父さんだからできる
子どもの心のコーチング』

菅原 裕子／著 PHP 研究所

請求記号：367.3 ス

子育てには、愛情たっぷりの「母性」と、厳しさという「父性」の両方が必要。「成長段階別・お父さんにできること」など、よきコーチとして、お父さんが積極的に子育てに関わるためのヒントを紹介する。



『現代の父親これで大丈夫！
読むと子育て楽になります！』

岡崎光洋之／著 文芸社

請求記号：367.3 オ

子育てが問題視されるこの時代だからこそ、お父さんは現代子育てのキーパーソン。「仕事が忙しい」「遊び方がわからない」お父さんに向けて、臨床心理士が贈る子育て実践書。



『父親業！「仕事か、家庭か」で悩まない
ビジネスマンのルール』

中山 和義／著 きずな出版

請求記号：367.3 ナ

父親には、父親にしかできないことがある。忙しい仕事や子育ての両立に悩む父親のために、子育てで気をつけることや、家族の絆の作り方などを、51のポイントにまとめて紹介する。

展示図書リスト

このリストのほかにも多数取り揃えております。ぜひ展示コーナーへお立ち寄りください。

書名	著者名	出版社	分類	出版年
父親の心理学	尾形和男	北大路書房	367.3 才	2011.09
父親の品格 父親としての自覚を持って	川北義則	中経出版	B379.9 力	2013.02
アナーキー・イン・ザ・子どもかわいい“父親に成る”ということ	槇田雄司	アスペクト	599.0 マ	2013.09
子どもにすごいと思われる父親の 105 の技	マイケル・オズボーン	中経出版	B049 才	2013.05
父親のための人間学	森 信三	致知出版社	379.9 モ	2010.04
父親になるということ	藤原和博	日本経済新聞社	B367.3 フ	2011.05
子どもための親子論〈親子になる〉という視点	芹沢俊介	明石書店	367.3 セ	2013.02
いま親にいちばん必要なこと「わからせる」より「わかる」こと	春日耕夫	東信堂	367.3 力	2010.01
子どもを伸ばす父親、ダメにする父親	高浜正伸	角川学芸出版	379.9 タ	2013.09
子別れのための子育て	高石恭子	平凡社	379.9 コ	2013.03
内田さんに聞いてみた「正しいオヤジ」になる方法	内田樹・木村政雄	宝島社	914.6 キ	2013.03
モテるお父さんになる！父親力をアップさせる3つの法則	中野博・細谷覚	現代書林	367.3 ナ	2010.06
家族の笑顔を守ろう！パパの危機管理ハンドブック	安藤哲也	集英社	367.3 ア	2012.02
仕事も家事も育児もうまくいく！「働くパパ」の時間術	栗田正行	日本実業出版社	159 ク	2012.06

ちょっと一息



小説・物語には様々な父子が登場しますがここでは父と子について触れている作品を幾つか紹介します。(区内所蔵あり・お取り寄せできます。)

「とんび」重松清 著/角川文庫

昭和37年、ヤスに長男が生まれた。幼い頃に親と離別したヤスにとってそれはようやく手に入れたぬくもりだった。しかしその幸福は突然の悲劇によって打ち碎かれた。我が子の幸福の幸せを願う父親の姿を描いた長編小説。

「チッチと子」石田衣良 著/新潮文庫

3年前、妻が不思議な事故で死んで以来、小学生の息子とふたり暮らしを続ける万年初版作家・青田耕平。ついに直本賞の候補に選ばれるが…。寂しさから逃れられない父と子の愛情を描く。

「ペダルの向こうへ」

悔やんでも悔やみ切れない過ちがある。残された人生をよりよく生きようと決意して、男は息子を連れて旅に出た……。ほろ苦さと優しさを巧みにすくう感動長編。

作成日：2013年12月16日

「父親と子」について調べるには

図書館の資料の調べ方、インターネットを活用した調べ方についてご紹介します。

1 【情報探索のキーワード】 効率的な情報検索には、適切なキーワードが必要です。

父親	パパ	オヤジ
父性	父子	親子関係
家庭教育	家族問題	コーチング

2 【基本的な情報源】 辞書・事典類でテーマについて基本的な情報を入手しましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
現代用語の基礎知識 2011	031 ゲ	6階
育児の基本大百科	599 イ	5階
のびのび育児百科	599 ノ	5階

◎中央図書館参考室では、育児に関する統計や白書を所蔵しています。

資料情報	分類
子ども・子育て白書 平成24年版 内閣府／編	369.4 コ
保育白書 12年版 全国保育団体連絡会／編	376.1 ホ
子どものからだと心白書 子どものからだと心・連絡会議／編	498.7 コ

3 【図書を探す】

●館内所蔵を探す

◎ テーマの棚に行って探す

図書館の本は主題ごとに棚に並んでいるので、請求記号の最初の数字を参考にして同じ主題の本を探すことができます。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
150	倫理学・道徳	159	人生訓・教訓	367.3	家・家族関係
379.9	家庭教育	599.0	育児		

◎ 中野区立図書館利用者解放端末（OPAC）で探す。

資料のタイトル、著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。

中野区立図書館のHP <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

中野区立図書館 HP（携帯版） <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

● 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す。

◎「東京都立図書館統合検索」 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

● 国内で刊行されている図書を探す。

◎「国立国会図書館サーチ」 <http://www.ndl.go.jp/>

◎「Books.or.jp」 <http://www.books.or.jp/>

国内で発行された入手可能な書籍が検索できます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

4 【オンラインデータベースで調べる】

中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末で、以下のデータベースをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1926年から1945年までの朝日新聞紙面イメージ 1945年から当日までの新聞の記事 ほか
MAGAZINE PLUS	1981年からの一般紙・総合誌の雑誌記事検索や学術論文
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5 【インターネットを利用する】

●中野区の子育て情報を知る

◎中野区子育て情報（中野区役所）<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/childcare/>

◎暮らしのガイド「子ども・教育」>「学習・遊び場・活動」（中野区役所）
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/006/index.html>

◎こんなときには>子育て>子育て支援（中野区役所）
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/102500/d007101/.html>

●東京都の子育て関係の情報を知る

◎パパのお悩み110番（東京都福祉保健局）
<http://tokyo.kosotateswitch.jp/papa/110>

●類縁機関

◎中野区児童館（中野区役所）
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/172000/d012426.html>

●お役立ちサイト

◎子育てネット（NPO法人日本子育てアドバイザー協会）
<http://www.kosodate.gr.jp/>

◎Fathering Japan（NPO法人ファザーリングジャパン）
<http://www.fathering.jp/>

父親の意識と実感

2011年2月に甲南大学第3期子育て研究班が調査した父親の役割をめぐる父親の意識によると、「理想的な父親のイメージを自分なりに持っている」という問いに「非常にそう」、「まあまあそう」という回答は44.8%で、「自分は理想的な父親だと思う」という問いに「非常にそう」、「まあまあそう」という回答は33.0%でした。自分の中に理想の父親像を持っている父親は、半分に満たないことになり、自分が理想的な父親であると思っている人の割合は、全体の3分の1にとどまりました。

また、「子育てをする上で父親と母親の役割に大差はないと思う」に「非常にそう」、「まあまあそう」という回答は答えているのは34.9%、「子育てにおいて父親はなくてはならない存在である」という問いに対しては同じく90.0%。「子育てにおいて母親(妻)にはかなわないと思う」という問いに対しては同じく79.7%となりました。およそ3分の2の父親が、父親と母親では役割に違いがあると考えていて、9割の父親が、父親は子育てになくてならないとしつつも、8割が「母親(妻)にはかなわない」と答えています。多くの父親が、父親独自の役割があると考えてはいますが、子育てにおいては母親の方が重要な役割を果たすと感じています。



子どもがある程度大きくなってからが「父親の出番」という問いに「非常にそう」、「まあまあそう」という回答は22.1%でした。子どもが小さい時から関わろうとする父親の姿勢が表れています。また、「子育てにおいて父親にしかできない(母親にはできない)ことがある」という問いに「非常にそう」、「まあまあそう」という回答は65.2%で3分の2の父親が、父親には独自の役割があると答えていることとなります。「子育てにおいて母親にしかできない(父親にはできない)ことがある」という問いには同じく81.5%でした。

全体として見ると、父親が子育てに不可欠で、母親とは違う役割があると、多くの父親が感じていると言えます。しかし、理想的な父親はどのようなものであるかについては、イメージしにくい、あるいははっきりと主張しない人が多いようであり、母親にはかなわないという意識が強いことが示されています。

出典：文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業[第2回]
子育て環境と子どもに対する意識調査— 父親版— 第2回報告書
(甲南大学人間科学研究所第3期子育て研究会編)